

- | | |
|--------|----------------------|
| 資料 1 | 定例報告（一部省略） |
| 資料 2－1 | 第 1 回情報・意見交換会報告書 |
| 資料 2－2 | アニメーターの年金問題 |
| 資料 3 | 「アニメーションで日本を元気に」進捗報告 |
| 資料 4－1 | 企画書「JAniCA 講座」 |
| 資料 4－2 | 講座・講演（案）（略） |

【出席者】**理事・監事：**

出席：ヤマサキ、井上（俊）、井上（鋭）、笹木、杉野、森田、桶田

欠席：なし

オブザーバー：

JAniCA 新聞編集部

1 【報告】事務局定例報告

資料 1 記載のとおり。新規入会者について、入会が承認された。

2 【報告】若手アニメーター育成プロジェクト

平成 22 年度について、文化庁による確認完了及び受領済仮払金残金の国庫返納完了。

平成 23 年度について、現状及び今後の見通しが報告された。

【決議】賛成 7、反対 0

平成 23 年度若手アニメーター育成プロジェクトに関し、国庫から第 1 回概算払いが支払われるまでの間、JAniCA 会計から金 150 万円を貸し付ける。

3 【報告】コンソーシアム構築事業

平成 23 年度の進捗状況について報告された。

4 【報告】6 月 19 日 情報・意見交換会、次回予定

資料 2 に基づき、去る 6 月 19 日に開催された第 1 回情報・意見交換会の結果報告がされた。

第 2 回については、8 月～9 月ころの開催に向け、調整を行う旨が報告された。

5 【検討】7 月総会の対応検討

投票方法等、運営方法の確認及び定足数確保のための方法について、検討協議された。

6 【検討】震災応援プロジェクト

資料 3 に基づき、進捗状況について報告がされた。

次回社員総会において、事前告知を行う旨が確認された。

7 【検討】ワオワールドの事務対応費用に関して、実費支払いの相談**【決議】賛成 7、反対 0**

JAniCA の主たる事務所としての郵送物等の宛先としてご協力をいただいているワオワールドに対し、転送実費及び事務手数料として、月額金 1 万円を支払う。

8 【検討】Postmaster メールへの対応のルール確認

postmaster@janica.jp を発信者とするメールの発出については、代表または理事会の意志に基づくものに限ること、各理事が@janica.jp アカウントで発出するメールに関しては、各理事の判断に委ねることがそれぞれ確認された。

9 **【検討】 絵コンテ、パース等の各種講座再開に向けての意見交換（企画提案）**

資料4に基づき、各種講座の開催に向けた検討協議が行われた。

【決議】 賛成7、反対0

今秋より、各月～隔月ベースで、作画と演出に関する講座、講演等を実施する。

執行役は、桶田監事とする。

講師報酬は、原則金10万円程度とする。

参加料は、①有料会員（正会員、準会員、業界会員）は無料もしくは500円程度、②無料正会員、応援団は1000円程度、③その他は5000円程度と傾斜設定を行い、参加料収入で講師報酬を除く実費相当額程度となるよう、留意する。

10 **【検討】 東京商工リサーチ登録の件**

登録情報の改定に協力することが確認された。

11 **次回日程**

8月27日(土) 13時～。

以上

第1回情報、意見交換会 報告書

会場	国分寺市立 本町・南町地域センター集会室
日時	2011年6月19日 pm1:00～pm4:30
参加者	無料正会員 宇代祐規・宇田明彦・江島泰男・大和直道・和佐田未希〔5名〕
	業界会員 小林かつのり〔1名〕
	賛助会員 杉浦邦充・松原広幸〔2名〕
	理事 笹木信作・森田宏幸・杉野左秩子〔3名〕

開始時間にはほとんどの参加者が到着。13:20に開始となった。

自己紹介の後

ルールについての説明をし、議題に入った。

情報意見交換会のルール

- ① 話しかけている対象をはっきりさせた発言をする
- ② 聞いた話は、出自をあきらかに
- ③ 全員1会員として発言をする(理事も参加しているが、彼らの発言も報告は別にして理事会を代弁するものではない)

年金にかかわる提案 (プリント配布)

<意見01>

JAniCA で年金問題(将来への備え)の解決にアプローチして欲しい。

フリーランス中心のアニメーター・演出は、国民年金のみの加入が中心で老後資金が不足している。国民年金未加入者も多い。支払い能力に応じた国民年金免除制度の利用や、「付加年金」「確定拠出年金」などへの加入も可能であることがアニメーターたちの間に知られていない。

年金制度自体に対し無関心でもある。

JAniCA にて年齢や年収などに分けてモデルケースを参考に作るなどして、年金制度の知識や情報を教えてやって欲しい。

勉強会を開くとか、参考情報をHP載せるなど方法はあるはずだ。

<意見02>

労働保険についての知識もあると良い。

<意見03>

自分はサラリーマンで、組合のほうで労働共済に入っている。

<意見04>

ファイナンスプランナーに相談する方法もある。

{お題1} 現在の情報入手手段

現在、会員がJAniCAから情報を入手する手段の確認と、postmasterへの会員からのメール実績を報告。

[お題2] ネット環境がない会員の情報入手手段は？

残念なことに、今回は参加者の中にネット環境がない会員はいなかったため、当事者からの要望を聞くことが出来なかった。しかし参加者からは数種類のアイデアが出された。

<意見2-01>

ネット環境がない会員たちのみで、希望者を募り、会員グループを組んで連絡網を作ってはどうか？

<意見2-02>

会員の個人情報保護の厳しさが情報連絡の足かせになっている可能性はないか？
個人情報取り扱いのルールを再考しては。

<意見2-03>

ネット環境がなく、情報や諸連絡を希望するものには、実費を払ってもらい郵送してはどうか？一人月100円くらいで足りるのでは。

<意見2-04>

総会のときに手渡しなどの工夫も考えられる。

[お題3] 新たな情報共有の場はありえるか？

<意見3-01>

postmasterメールは、重要な問い合わせに使うものであり、意見を送って良いとは認識していなかった。それならば、そう告知して欲しい。

<意見3-02>

目安箱的なものをつくる。

<意見3-03>

2月臨時総会で理事が改選され新体制に変わったが、芦田代表体制との衝突が尾を引いていまだに悪い印象が残っている。

“けじめ、引渡し” 的イメージで元理事会から現理事会へバトンタッチの表明を出してもらい、それをHPに載せるのは如何か？

<意見3-04>

現理事会の方針を表明して欲しい。HPに創設時からJAniCA の理念が出されているが、その理念へのアプローチの仕方を現理事会はまだ示していない。

<意見3-05>

今は文化庁の若手アニメーター育成事業の部分だけの組織という様なイメージが JAniCA にある。

<意見3-06>

若手アニメーター育成事業の広報活動を会員たちへの諸連絡に利用できないか。
若手アニメーター育成事業の宣伝協力を会員にゆだねるという名目でダイレクトメール郵送費の予算を引き出し、会員たちへの諸連絡をかねる仕組みを作ってはどうか。

<意見3-07>

JAniCA TIMES の記事は文章が分かりづらい。伝えたい内容を俯瞰した上で視点をはっきりさせた上で書かれていると、より分かりやすくなるのではないだろうか。

<意見3-08>

JAniCA TIMES にはHPにて告知されている内容とかぶる記事が多い。
郵送で届くものには付加価値が欲しい。
たとえば元理事からのバトンタッチのアナウンスや
今後の JAniCA の具体的方針の記事など。

<意見3-09>

JAniCA TIMES はいつもHPへアクセスしない会員にとってはありがたい事。
しかしそのため金銭的負担が増えるのであれば、希望者だけに送ればよいのでは。

<意見3-10>

JAniCA TIMESについては、有志による独立した新聞であるというが、JAniCAの封筒で送られてくる。混乱しやすい。

<意見3-11>

じゃにか倶楽部のブログについて、今は個人で書いているが組織的なものも作っては？
交代で書くなどの工夫もあるのではないかな。

<意見3-12>

JAniCAの活動が、個人の力に頼りすぎている印象がある。(会やイベント手伝いなど)出られるところには出ようと思っている会員もいる。

〔お題4〕 無料正会員の意見反映の可能性

<意見4-01>

臨時総会では、揉め事があったため委任状を出すのを嫌がっていた人も多い。委任状の回収率が悪かったのは無料正会員の無関心、無責任に原因があるのではなく、揉め事のせいもある。ある意味で多くの会員が中立の立場にあったからではないのか。中立の立場を表現する方法が出来れば委任状の回収率は上がるのでは。

現在の状況は無料正会員が切り捨てられている感がある。

無料正会員が議決権を(一時的にしる)なくすに至った経過説明が不足している。

会員全体に向かって詳しい説明や告知を出来ないか。

<意見4-02>

無料正会員の扱いについては、中間法人から一般社団法人へ移行した経緯も影響している。その流れも含めて来年の総会前までには分かりやすい説明が欲しい。

<意見4-03>

総会に“棄権”票を作るのはどうか。

<意見4-04>

無料正会員の意見反映の可能性としては二つある。

議決権なしの場合、意見の吸い上げをすること。

議決権ありの場合は委任状のあり方(必要性)をはっきり知らせる回収率を良くすること。

<意見4-05>

JAniCAは無料正会員でいるしかない(金銭的に苦しい)人を何とかしたいと思って作られた組織なのでは？

<意見4-06>

そうであれば無料正会員を守らないといけない。

しかし、自分たちで(自分たちの環境を)何とかしたいと思って作ったのがJAniCAなのであれば、無料正会員の人たちは、総会に出るなり委任状を出すなりするべきではないのか。

<意見4-07>

無料正会員枠は何のためにあるのか。

無料正会員枠があることで、業界の一体感を増すとか、有料正会員になれるような環境整備をするような意味であれば、彼らの意見を吸い上げるために無料正会員が参加できるようにする必要がある。

無料正会員が守るべき対象であるなら、その法人の中にこの人たちは援助するのだという定款があるだけで、彼らを自分たちの仲間に取り入れるというより保護の対象にしてしまう。

<意見4-08>

稼げないかたが生活できるためにどうするかというために立ち上げた組織なのかな、という意味で無料正会員はJAniCAの主役でいて欲しい。

<意見4-09>

正会員ではない自分は、サポーターであるから、会費を出しているからといって議決権の必要はない。意見を言わせてもらえる場があれば十分だ。

総会には参加させてもらいたい。

<意見4-10>

総会の投票の仕方を、誰が誰に票を投じたか分からないようにして欲しい。

仕事に影響する心配を持つ会員がいると思う。

〔その他〕

<意見その他01>

文化庁若手アニメーター育成事業の結果報告が欲しい。決算や成果など全般的な報告を聞きたい。

<その他02>

文化庁若手アニメーター育成事業の講座を見学したい。

<その他03>

講習会を開いて欲しい(絵コンテ講座やパース講座…)

<その他04>

2009年の「アニメーター労働白書」を安く譲ってもらうことは出来ないか。

またはHPなどで公開できないか聞いてみて欲しい。

また、調査は継続して欲しい。

<その他05>

今後の意見交換会は、開催の告知をもっと早くして欲しい。

今後の課題

① 今回、理事会に報告すべき意見の取捨選択、意味の解釈に苦労した。

意見の整理は、意見交換会のあと、理事だけで行うのではなく、会の最中に、参加者の前で出来る限りは、済ませるべきだと分かった。

ホワイトボードに記録する前に、参加者の意見を正確に集約する段階を設け、ホワイトボードに記録した意見は、加工される事無く、理事会にそのまま提出されるルールを、参加者に周知させることとしたい。

ただし、ホワイトボードだけの情報では、情報の取りこぼし、情報の勘違いが発生する事もわかった

② 今回、報告書を書く上で、録音データの文字おこしは記録のバックアップとして大いに参考になったが、録音状態が万全とは言えず、文字おこしにも大変苦労した。

今後、録音の方法、文字おこしの作業の軽減を、検討したい。

一般社団法人日本アニメーター・演出協会

理事 杉野左秩子

なお、本報告書は、一般社団法人日本アニメーター・演出協会理事、杉野左秩子が自らの責任と判断に基づいて作成したものであり、筆者の所属団体の見解ではありません。

アニメーターの年金問題

アニメーション業界の人々が老後を暮らしていく為に

アニメーション業界ではフリーランス、契約社員など厚生年金ではなく国民年金を主とする人がメインです。正社員の人でも給与の高くない現状では、老後資金が充分でないと思われます。

その問題に対するにはどうすればいいのでしょうか？何が出来るのでしょうか？

○いくら必要か(各種データ)

・総務省「家計調査(平成17年)」によれば、高齢者世帯が実際に必要とする生活費は月額約27万円。生命保険文化センターが行った「生活保障に関する調査(平成16年)」では、ゆとりある老後を送るために必要な生活費は月額約38万円が必要ということです。

・公的年金モデルケースでは夫婦2人で、約23万円/月

・人事院が一般的な国民の標準的な水準を求めめるために算定した標準生計費(平成20年)は、二人暮らしの世帯で181,890円、1人世帯で99,730円

・平均寿命は平成21年(2009年)で男性 79.59歳 女性 86.44歳

病気などの様々な出費も考えると頭が痛くなりますが、アニメーション業界では、まず標準生計費を最低限として公的年金モデルケースを目指すべきでしょうか？

最低限 標準生計費が2人で181,890円

近い目標 公的年金モデルケースが2人で約23万円

遠い目標 ゆとりある老後を送るために必要な生活費は2人で約38万円

○現状

2008年度 実態調査 概要報告より、回答数728(内30部は色々不備があったということなので有効回答数としては700ぐらいでしょうか？)

国民年金に加入している 385/728

厚生年金・共済組合などの公的年金に加入 85/728

備えをする経済的余裕が無い 294/728

全く考えていない 58/728

公的年金の未加入あるいは支払いを出来ない無年金な人が約半数？いることとなります。

平均年収

20代 110.4万

30代 213.9万

40代 401.2万

50代 413.7万

60代 491.5万

70代 30.0万

○個人で出来ること

・平均年収の20代は経費を計上して年金を免除にする。

・平均年収の30代は国民年金を払う。半歩進めて付加年金も支払う。余裕があれば国民年金+付加年金+確定拠出年金(あるいはインデックス投資)をするべきかと。確定拠出年金はいざと

いう時換金できないのが欠点です。税制上は控除になるのでインデックス投資よりも有利です。
 ・平均年収の40代、50代も国民年金+付加年金+確定拠出年金(あるいはインデックス投資)をするべきでしょう。
 ・フリーランスではないアニメーターも自分の老後資金を試算して不足しているなら、確定拠出年金(あるいはインデックス投資)で老後資金を積み立てるべきかと思います。

○組織で出来ること

第一段階(準備)

・アニメーターの現状の収入でも達成できる老後資金の積立モデルを作成(最低限の金額と近い目標の金額を分かるように作成すべき?)

第二段階(現状で出来ること)

・アニメーターに年金に関する知識をつけてもらう
 HPでの提示やパンフレットなどを作成
 具体的には年金の免除制度の周知徹底・PR(特に20代の若手に対して)
 付加年金、確定拠出年金(あるいはそれに相当するインデックス投資など)に関する知識
 HPでの提示やパンフレットなどを作成
 作成したモデルを示してこのくらいの金額を払えば、このくらいの老後になる、というイメージを持ってもらう
 パンフを制作会社に配布などして新人のアニメーターを雇ったときに渡して説明してもらう
 説明会の開催
 ・より詳細な実態調査の実施

第三段階(将来)

・アニメーター以外にも対象を拡大
 ・アニメーター用の確定拠出年金の取り扱いなどを始める

○残る問題点、課題

・払えない人の問題が解決しない
 ・払っていなかった、あるいは現状で老後資金の足りていない50代以降のアニメーター
 ・20代で収入が低くても世帯収入が高くて免除にならない人がいる
 ぎりぎり基準を超えていたりして生活が厳しくて払えない場合も多い
 ・そもそも収入がどの年代も低いので満足のいく金額のモデルを作るのは難しい
 ・アニメーターは・ベテランでも収入の変動が激しいので月何万円積み立ててということがやり辛い
 ・将来の収入がどうなるか、といった予測が難しい
 ・アニメーターの現役引退から年金支給開始までの期間が無収入になる
 ・今後公的年金も支給水準が引き下げられる可能性が高い

○まとめ

現段階でできることは、根本的な解決にはなりませんが、年金に対する知識や対処法を知ってもらうことだと思います。そういったPRや学習機会を組織で作ることが出来れば、20年後30年後40年後の老後生活が違って来る人間は多くなるのではないのでしょうか。

この文書がアニメーターの年金問題に対処するためのたたき台となれば幸いです。
 よろしくお願ひ致します。

文責:江島泰男

立ち上げられ東日本～アニメーションで日本を元気に～

2011年7月23日理事会 進捗報告

担当 森田宏幸

- 1) 現在の参加者 5名(理事4名含む)
参加制作中 4名(1週以内に完成)
参加予定者 6名(理事1名含む 完成未定・・・)

- 2) ページ制作の計画の変更。ページA(ジャンカ倶楽部)とページB(全作品集合ページ)に同時進行で作品をアップする。
ページA: 会員のアクセス可能な投稿ページ(応援団ぐらゐにまでアカウント許可する) 入力フォームの構築。プロフィール、ペンネーム、著作権ルール同意、「一言メッセージ」など。投稿は大坪氏が受付、フィルタリングののち、ただちにアップする。情報優先のページ。
ページB: ページAから、随時、大坪氏の手作業で作品を移す。
名前(ペンネーム)のみで、鑑賞しやすい、ビジュアル優先のページ。
パソコン用と携帯用を作成。容量の制限が必用か?
サムネイルをクリックすると開くバージョン &
サムネイルが最初から同時に動いているバージョン

- 3) 「趣旨説明」「募集要項」「入力フォーム」などの文面の作成
大坪氏の協力にて作成→理事会で承認

- 4) 投稿作品のフィルタリング案
公序良俗に反するもの→大坪氏と森田の判断で非公開とし、理事会に報告。
(直接的な性描写、悪意と刺激の強い暴力、
趣旨と無関係の主張、宣伝。誠意がない完成度の低いもの、など)
主旨と微妙にずれているもの→出来るだけ、いったんは公開。
参加者の意欲を引き出したい。ただし、同時に理事会に報告、
世間の反応を注視。削除は理事会の判断。
理由のアナウンスの方法。専用ブログ作成?

- 5) 社員総会にて発表、予告できる?

以上

2011/07/23

【企画書】 JAniCA 講座

- 1 スキルアップ (パース) 講座
開催頻度 : 毎月とし、4ヶ月で1セット、年3セット。
時間 : 3時間 (途中1回休憩)
想定来場者数 : 50名
有料会員 : 無料
無料会員 : 1000円
非会員 : 3000円 (ただし、会員申込みその場でOK)
内容 : 入門、基礎、中級、実践の計4回で1セット
講師 : (略)
講師謝礼 : 各回5~10万円

- 2 絵コンテ講座
開催頻度 : 1ヶ月に1回~2ヶ月に1回
時間 : 3時間 (途中1回休憩)
想定来場者数 : 100名
受付方法 : 賛助会員以外の会員 > 賛助会員 > 応援団・一般で時差
会員 : 1000円
非会員 : 3000円 (ただし、会員申込みその場でOK)
内容 : 講師によるが、基本的には各回独立
講師 : (略)
講師謝礼 : 5~10万円

- 3 合宿
開催頻度 : 年2回程度?
スケジュール : 1泊2日 (宿泊)、各日8時間パース特訓
人数 : 20人
会員 : 18,000円
非会員 : 30,000円 (ただし、会員申込みその場でOK)
初回なのでとりあえずの値段、と明記しておく。
講師 : (略)
講師謝礼 : 10万~20万

以上